

文部省
天文局

明治五年壬申頒曆

大學星學局

明治五年のるる乃天保壬寅元曆 値年凡三百五十五

大なる方 いふはあつて方は
但しなきす

大なる方 いふはあつて方
三年あつて

大なる方 いふはあつて方
いふはあつて方

歳徳金神



大なる方 いふはあつて方
いふはあつて方

正月小 二月大 三月小

四月大 五月大 六月小

七月大 八月大 九月小

十月大 十一月小 十二月大

正月 小建壬寅 角宿 值月 牛宿 金曜 值朔日

二日 いふはあつて方
いふはあつて方

三日 いふはあつて方
いふはあつて方

四日 いふはあつて方
いふはあつて方

朝時分上と右のよりわけしめ昼九時三分
是より九時九分上の方にある。

月とく五廿日

十八、子自文之曰

あふり
ありり

もめとろくめとろく
田倉とてやとそすのうは

と	木
入梅	田倉月とく大いふちのこ
とつくと大さうの五が日	

天々

十八五廿二

[illegible]

木
ちり日
一
三
五
刻
半
金

時分見出賣金
夜四十刺余
夜三十四刺余

土
月とく五日

大倉の田倉を二つとて、
田倉のくく日大公のちの三箇うへは

火

大さきうのふく日

土
 邦よりむきなりふ
 邦は天をあらふめめ地

金
 百
 金

木 食へのちめ 五日天あひやく日めとう并ふの

卷之五

昇日あり

神々々々

冊倉五却月

夜四十三刺半 空 夜三十八刺

大正九年八月五日
とくくけいふくまところ

来犬ふく日めさるる

百

百
天
人
日
の
う

ふく日天火のちやまうあう

中ノミ

冊倉

ちろ日影火めめん

24

大さきう月とくつめさうの

禹貢全看五十四夾半 卷五看五十一夾半
夜四十五刻半 夜四十刻全

白茅よ
大茅ちいさく

邪に大なる大なるなり日

我々大業天皇の御子なり

天下の事

章百

大正の天お七の口お七の口

7

鬼金あう

一

邪よこしま

十八日 月とく

神のあまとうゝあまのうゝ

寶金 每四三刻半
夜五十一刻半
寶生 每四三刻半
夜五十一刻余

人々を以て井を以て

一

てあく日ゆのちち

天下之為道也

天抄より日太公抄火子前は

天あん 天火のうた 五和

くま日ちう日

百集

1

登四十七刺

夜半八刻余 万二夜五十三

ちんちんちりたり　こころの付

大ニウクニ日ニ

大分
百

天あんのめとろ

千七百七

非は人きう天あんめく日ちとくそは
 人あんそむつひつらふ

石

火

昼四十刺半
 夜五十九刺半
 空
 昼四十六刺
 夜五十四刺

いちぢくめとてゐる

卷之四

大まかう月とく五廿日

ちん天火字く

大工の五廿日
田舎の五廿日

三ノ部は母倉同之太

百
日

百染妨け有

五十四
大さきり月とくふさしうとそろへる

自金 昼四十刺 夜五十九刺半
夜五十四刺 夜五十四刺

八
の
サ
い
あ
ら
ま
は
り
の
み

大令會

大まゝのうゑに日ちの三天天合

三ノ廿倉うまぬり 三ノ三ノ三ノ

百人百天天人人

明治四年出
弘曆者
京都
菊澤藤藏

明治四年出
弘曆者
京都
菊澤藤藏

